

地域を元気に！ 第2回「全国高校生1億円プロジェクト」開催！

8月7日、ビジネスの手法を用いて地域課題の解決を図るソーシャルビジネスプロジェクト(SBP)に取り組む高校生たちが中心となって企画から運営まで手掛ける「全国高校生1億円プロジェクト」が開催されました。

県内外から集まった約100名の高校生たちは、E・L・Mでブースを出展し、各校で開発した商品の販売や展示を行ったほか、同日開催の五所川原立佞武多に参加し、新作大型立佞武多「素戔鳴尊」の曳き手として、まつりを盛り上げました。

実行委員長の相馬怜奈さん(五所川原第一高等学校3年)は「ブースの出展は思った以上にお客さんが来てくれて、声をかけてもらえたのでうれしかった。プロジェクトも全国のみんなと活動することができたので、とてもいい思い出になった」と笑顔で話しました。

県外の高校から曳き手として参加した生徒たちは「みんなで声を出して大きい立佞武多を引っ張ることができてよかった」「初めての青森で、みんなと仲良くなれて、貴重な経験だった」と話しました。



開催前に全員で記念撮影



ブース前で元気に呼び込み



自分たちで開発した商品を販売



力を合わせて立佞武多を曳く高校生たち

今月号の表紙

今月号の表紙は、初出陣となった新作大型立佞武多「素戔鳴尊(すさのおのみこと)」です。

今年の五所川原立佞武多は、運行25周年の節目を迎え、記念行事として屋台やキッチンカーなどが並ぶ「ごしょがわら めじゃ〜 ストリート」が開催されたほか、親子で参加する「親子de立佞武多」「親子de囃子」が行われました。

8月8日の閉会セレモニーでは、五所川原立佞武多運営委員会の山崎淳一大会長が「このまつりをより誇れるものとして進化させ、次の時代へパトタッチしていきたい」と話しました。

「素戔鳴尊」を制作した鶴谷昭法技能技師は「皆さんが楽しんでくれているのが伝わってきたのでよかった」と話しました。

***まつりの様子は4、5ページに掲載！**

(立佞武多運行25周年 「素戔鳴尊」出陣！)

また、まつり前夜の8月3日には第72回五所川原花火大会が開催され、約5千発の花火が夏の夜空に大輪の花を咲かせました。



音楽に合わせて打ち上がる色とりどりの花火